



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2012-2013年度 R I 会長 田中 作次

●クラブテーマ「調和・Balance」●



第2590地区 ガバナー
露木 雄二

- 会 長 飯田 泰之
- 会長エレクト 伊東 英紀
- 副 会 長 山田 正憲
- 副 会 長 吉田 隆男
- 幹 事 西山 潔
- 副 幹 事 山本 芳弘
- 会 計 朝日 達夫
- 副 会 計 金森 欣一
- S A A 横 溝 亘
- 副 S A A 矢野 修二
- 副 S A A 河野 明光
- クラブ会報 森 永 健



事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和51年5月29日
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2012-2013年度 第30週報 No. 1777 2013年(平成25年) 2月22日 第1777回例会記録 3月1日発行

司 会 西山 潔 幹事

幹事報告 西山 潔 幹事

点 鐘 飯田 泰之 会長

- ・先週に引き続き、2013-14年度のロータリー手帳の注文申込書を回覧致しますので必要とされる方は名前を明記願います。なお、本日をもって締め切らせて頂きます。
- ・先日、ビジターでいらっしやいました三条東R.Cの小出和子様よりバナーを頂きましたので回覧します。
- ・次週、例会終了後に国際奉仕・新世代奉仕によるクラブフォーラムを開催致します。多数の参加をお願い致します。

斉 唱 「それでこそロータリー」

四つのテスト 長井 章 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

委員会報告

誕生日祝 梅崎 興生 会員 (2月22日)
伊澤 政宏 会員 (2月22日)

第2590地区 R情報・広報・IT委員会 副委員長 赤堀 和人
2月17日から18日に湯河原温泉、ニューウェルシティ湯河原にて、国際ロータリー2590地区新会員一泊研修会に参加して来ました。今回は露木ガバナー年度初めての試みで、新会員の為のセミナーという形でロータリークラブの歴史・理念から始まり、グループディスカッション、各委員会委員長の講演、懇親会と続き、RYLA報告、ビデオ上映と夜遅くまで内容の濃いセミナーでした。



本日〈3月1日〉のプログラム

- ◆ 斉 唱 「君が代」「奉仕の理想」
- ◆ 献 立 ローストビーフ
- ◆ 卓 話 イニシエーションスピーチ

高瀬 伸一 会員

スマイルボックス 横溝 亘 SAA

梅崎興生君 誕生日祝いを頂き、ありがとうございました。71歳となり、残り少ない人生を考えるようになりました。

伊澤政宏君 ①誕生日祝い、ありがとうございました。本日で69歳になりました。②青少年の為の農道マラソンに、当クラブより協賛金を頂けることに感謝致します。

飯田泰之君 明日23日より、東日本震災地の七ヶ浜R.Cの創立20周年記念セレモニーに、加藤直前会長、天野直前幹事、西山幹事、金森社会奉仕委員長、飯田の5人で参加致します。

青柳 紀君 一言書くように誰かさんに言われたので“一言”！終わり。

吉田隆男君 地元の行事の為、途中退席します。

山本 登君 たまに早く来ると皆さんにイジメられます。

加藤仁昭君 寒いですね。明日、七ヶ浜に行つて来ます。むこうは雪みたいです。

西山 潔君 小池P.P、飯田会長、矢野さん、植田さん、白鳥さん、本日の卓話、よろしく願い致します。楽しみにしています。

山田正憲君 今年は寒い！体も心も懐も。

小山市康君 今回スリランカに訪問された方、白鳥国際奉仕委員長、会員の方々、本日の卓話、よろしく願いします。どのような展開になるのか楽しみです。

河野明光君 まだまだ春近からずです。皆さん、ご自愛下さい。

矢野修二君 ①伊澤さん、2月24日の農道マラソン菅田スポーツ振興会会長として頑張って下さい。（ロータリーもよろしく）②キャップ、Tシャツ一式を寄付します。

横溝 亘君 来週より2週間、商品仕入れて例会お休みさせて頂きます。矢野、河野副SAA、よろしく願いします。

2月15日	13件	28,000円
本年度累計		1,442,000円

出席報告

月山 勇 出席副委員長

会員総数	54名	(37+17)名	
出席会員数	41名	(28+13)名	
出席率	82.00%		
ゲスト	0名	ビジター	0名
前回補正後	90.00%	前々回補正後	92.16%

卓話

「スリランカ訪問の報告」

国際奉仕委員会 委員長 白鳥 厚夫
《平成23年12月神奈川東R.Cスリランカ井戸寄付について》

2012年12月8日から13日までスリランカの井戸寄付の引渡式に行つて参りました。メンバーは、ワンワールド・ワンピープルの鈴木一男会長、神奈川東R.Cの飯田会長、小池P.P、矢野会員、植田会員、白鳥国際奉仕委員長の計6人で行動しました。

今回は、神奈川東R.C2本、飯田会長1本、小池P.P1本、矢野会員2本の合計6本の井戸をキャンディとポロナルワ中心に2本/日×3日で回りました。



旅の前準備として、我々5名の青いユニフォーム（Tシャツと帽子）を矢野氏に揃えて頂き、神奈川東R.Cの勇士は、スリランカへ出発致しました。

井戸を寄付した村人は、幼稚園生、小学生、先生方を中心に50人から150人位で迎えて頂きました。必ず歓迎の挨拶、井戸の引渡式に対するお坊さんのお祈りがあり、更に舞台（わざわざ舞台をパイプ等で作成した場所もありました）でさまざまな喜びの踊り、歌、寸劇を見せてくれ、我々は精一杯の歓迎を受けました。この出迎えに際し村人達は、我々が何時に着くかはっきりしないのに、おそらく30℃にも及ぶ炎天下で長時間ずっと待っていてくれました。「暑い中、申し訳ありません」と頭がさがる想いでした。

井戸の開設に対するお祈りは、大体太ったお坊さんが、デーと真ん中に座り、ファンをゆっくり自分の為だけに仰いで5分程お祈りをされていました。その間も子供たちの大きい純真な眼は、キラキラ光り輝き我々を見つめていました。井戸から最初に汲み上げるのは井戸を寄付した者が行います。汲み上げた水を一旦壺等に入れ、子供達に飲ませたり、その壺を家に運ぶという地域により違いがありました。テープカットをする井戸、しない井戸等多少違いがありました。

日本からフェリス女学院の生徒さんの絵本（彼女達が幼い頃、特に思い出に残っている絵本を選んで頂き英語に翻訳）を幼稚園の子供たちに差し上げました。早速読もうと眼を輝かせている男の子もいました。



引渡式が終わると井戸を使う家等に案内されました。家は、客室、台所、寝室という間取りが普通の様です。スリランカでは、裸足の人が半分位なので玄関（下駄箱）というのが無いようで、戸を開けると即客室でした。祝いの食事は、6ヶ所共ほぼ同じで、四角いおにぎり、大きな葉っぱで包んだのし梅の様な甘い食べ物、チキン・魚のカレー、バナナ等10種類位のごちそうを出して頂きまし

た。我々は、短時間で次の井戸に向かわなければならない時間に制約があり、一口頂いて引き揚げたのですが、大変な時間をかけて引渡式準備をしてくれたことに申し訳なく思いました。

反省点もありました。というのは、我々1井戸に対して50人分ずつのお土産（中には日本製の色鉛筆、消しゴム（消しても紙が破れないと人気）、帳面等）を子供たちに用意しておりました。しかし貰えない近所の子供たちがいました。その子供たちに幼稚園の先生は、「貰ってはダメ」といった悲しい出来事が起きました。予定以上の子供がいる場合、我々が直接子供に手渡すのでは無く、先生に一括して渡した方が良いと感じました。

驚いた事にポロナルワの移動において白バイの警官2人が我々を1日中先導して案内してくれました。このような経験は、一生の間にもう二度と無いだろうと思います。



最後に、世界広しと言えども、村中が歓迎してくれるという行事・出来事がどの位あるのでしょうか？これは、元気な鈴木会長とアリ博士を始め、県知事のサンパスさん、案内及び運転手のバンダーラさん、さらに親日なスリランカの皆様のおかげと我々5人は深く感謝すると同時に、この活動を将来いかに繋げていくべきか、という責任を強く感じました。





次回《3月8日》の卓話予定

テーマ「地震と俳句」

文芸評論家 須藤 徹 様

(紹介者 小山 市康 会員)